

各常任委員会の報告

総務委員会

◆平成22年度秩父市一般会計補正予算(第2回)所管費目

問 「ちちぶ定住自立圏推進事業の秩父まるごとジオパークジオサイト解説板設置工事」はどこに設置するのか。

答 長瀬の「岩だたみ」小鹿野の「ようばけ」「橋立鍾乳洞」等の有名なところに、本年度10か所ほど設置したい。しかしジオパーク推進協議会で、設置場所を煮詰めていく段階であり、変わる可能性がある。

問 「ふるさと学習センター設立準備事業」の土地調査業務委託料、建設基本構想策定業務委託料とは。

答 土地調査業務委託料は、ふるさと学習センター建設の候補地である旧秩父セメント第一工場跡地に対する土地及び環境面の調査を業務委託するものである。建設基本構想策定業務委託料は、ふるさと学習センター建設にあたり、その規模、機能、施設の内容や予算について、調査検討を行い、建設に向けた基本となる構想の策定を行う委託料である。

◆工事請負契約の締結について

問 (仮称) 北部共同調理場建設工事の再入札に不調になった業者

が組み替えて入ってきているが入札から外すのではなかったか。

答 金額が5千万円以上の案件については、一般競争入札のため、業者を指定できない。地域要件についても、1回目が不調になったことにより、地域割りを拡大し、県北4県土整備事務所管内に広げ、2社または3社による共同企業体による一般競争入札で行った。※運搬の距離が長い。地産地消を要求している中で、自校方式にすれば、300食ですむ。農協に聞いても一度に1千食は無理でも3回に分ければ、物によっては、提供できるという。吉田中学校跡地に建設するのは、賛成であるが、尾田蒔を含めた共同調理場建設の工事請負契約の締結には反対するとの意見が出された。

○挙手多数により可決



(仮称) 北部共同調理場の完成予想図

建設委員会

◆平成22年度秩父市一般会計補正予算(第2回)所管費目

「キッズパーク休憩所増築工事」についての質問・要望と答弁。

問 事業費のうち木材費の額は。

答 部材費は150万円。

問 施設周辺の道路整備は。

答 県道整備により、道の反対側に歩道ができるとの情報がある。

問 予定の立面図よりも高い空間を確保できないか。

答 軒を高くできるか検討する。

「市営住宅管理事業」について

問 市営住宅の地デジ対策は。

答 共同受信システムが整備されている住宅は全て対応済みだが、一戸建住宅は入居者が対応。

問 白久住宅の外壁の補修は。

答 大きな工事は緊急度に応じて計画を立てて対応していきたい。

問 「道路新設・改良事業」について

問 大滝幹線4号線工事の内容は。

答 沿道の擁壁補修にアンカー工法で法面対策工事を施工する。

◆平成22年度秩父市駐車場事業特別会計補正予算(第1回)

問 今後の工事、補修で予備費を使用する予定があるのか。

答 三峰山駐車場入口の料金所と門扉を修理し、身障者の方へのス

ロープ整備等を予定している。

◆平成22年度秩父市水道事業会計補正予算(第1回)

問 「主要地方道熊谷・小川・秩父線配水管布設工事」の内容は。

答 栃谷地内の道路工事と同時に施工する。一部用地交渉で了解が得られず、工事箇所を変更、延長する。

○以上3件は、原案のとおり可決



ちちぶキッズパーク現地調査の様子

各常任委員会の報告

生活産業委員会

◆秩父市秩父都市計画下水道事業受益者負担金条例の一部を改正する条例

問 地域により負担金額が違う理由は。

答 土地面積や工事費用の差によるためである。

問 負担金はどのような土地にか

かるのか。

答 負担金はすべての土地に賦課されるが、山林、田、畑等については猶予制度があり、申請すれば猶予される。

◆平成22年度秩父市一般会計補正予算(第2回) 所管費目

「市民部の所管費目に対する質問・答弁」

問 上町街かどギャラリ―中庭改修工事の内容は。

答 非常口から中庭への避難経路を造る工事である。

問 影森公民館事業の消耗品費は高額だが使途は。

答 会議用椅子やテーブル360脚の購入費である。

「産業観光部の所管費目に対する質問・答弁」

問 新規就農希望者支援緊急雇用創出基金活用事業の委託先は営農組合で良いのか。

答 新規就農希望者の支援業務委託は、第三セクターの「龍勢の街よしだ」に委託する。

問 商店街イルミネーション緊急雇用創出基金活用事業は4名の雇用になっているが仕事の内容は。

答 イルミネーションの設営を行う業務に携わる。事業は商工会議所に委託する。内容は、12月から1月をめどに商店街で実施することを計画している。

問 小規模事業者登録促進緊急雇用創出基金活用事業の内容は。

答 登録を公募し、登録者の入力をする事務的な業務。雇用者は、1名である。

◆平成22年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第2回)

◆平成22年度秩父市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1回)

◆平成22年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1回)

◆平成22年度秩父市公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1回)

○以上6件は、原案のとおり可決

〔請願〕

◆森林・林業再生に向けた基本政策の推進を求める請願

○採択

文教福祉委員会

◆秩父市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

○原案のとおり可決

◆秩父市立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例

※保育料については、合併時の「負担は低くサービスは高く」の掛け声どおりになった数少ない事例であるのに、5年間で保育料を上げるということは住民をあざむくことになる。提案理由に近隣の市町村の公立幼稚園との均衡を図るため、と書いてあるが、合併前から均衡がとれていない状況であったはずなので、それを今回の提案理由にするのはおかしいと思う。また、現時点で明示できるシミュレーションもないとのことである。以上の理由により反対である、との意見が出された。

※昭和47年の荒川幼稚園開園当初に設定した保育料と、現在の保育料が同額であることを考えると、保育料の見直しが必要であると思う。私立幼稚園の入園状況から考えれば、保育料だけで幼稚園が選ばれているわけではないと思うし、改訂後の金額も妥当だと思うので賛成である、との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆平成22年度秩父市一般会計補正

予算(第2回) 所管費目

問 (仮称) 北部共同調理場建設の入札が6月に不調になり、設計内容の一部見直しがあったが、その見直しにかかった費用が補正予算に計上されていない理由は。

答 設計の見直しの内容は、災害発生時における緊急の炊き出しを想定して炊飯室の設置を予定していたが、その施設を削除したこと。もう1つは、調理用の釜を6基設置することで考えていたが、5基に減らしたこと。その2点だけなので、設計の見直しのための経費はかかっていない。

※(仮称) 北部共同調理場については問題がある。調理場を吉田に建設することには反対でないが、6校分の給食をまとめて調理することに反対の立場である。そのため、その調理場に関する事業を含む補正予算には賛成できない、との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆平成22年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

◆平成22年度秩父市老人保健特別会計補正予算(第1回)

◆平成22年度秩父市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)

◆平成22年度秩父市介護保険特別会計補正予算(第1回)

◆平成22年度秩父市立病院事業会計補正予算(第1回)

○以上5件は、原案のとおり可決

特別委員会報告

議会改革特別委員会

「秩父市議会議員定数削減を求めめる請願」（議員定数を現行の26人から20人以下に削減する趣旨の請願）について、7月2日、22日、8月9日、24日に委員会を開催し、議員定数について各委員の意見を出し合い議論を重ねた。主な賛成、反対の意見は、次のとおりである。

賛成の意見

●面積も無視できないが、人口を最重視すべきである。議員1人当たりがかかえる人口は埼玉県平均6,299人に対し、秩父市2,664人である。人口3千人以下は秩父市だけで、20人以下にするべきである。

●議員1人当たりの市民数、財政力指数も県下40市中40番目であり、反論資料もない。

反対の意見

●全国で秩父市以上の面積を有し、かつ人口類似市のデータを基にした議員定数及び全国市議会議長会で発行している「市議会旬報」が示す全国の法定上限数30人の市における議員定数削減率が21%であることを見ても決して多くない。

●定数削減は、小党派の当選を難しくすることから、議員の役目である市民と行政をつなぐパイプ役が細くなってしまう。いたずらな削減は、市民と議員との間に不幸の連鎖、負の連鎖を生む可能性を含んでいる。財政上の問題もあるが、議員定数は財政に左右されてはならないので反対。

●議会の委員会で討論を活発化するには、削減してしまつてはそれができなくなる。将来的に3委員会にするにしても、最低でも21、22人は必要と考えるので反対。

●委員会を充実させるため、本来であれば24人が望ましいが、市民感情的なものを考慮して22人が適正であると決断したので反対。

結論

●挙手採決の結果、挙手少数により本請願は、不採択となった。なお、本委員会では、引き続き議員定数についての議論を重ねていく。

※「秩父市議会議員定数削減を求めめる請願」は、平成22年6月定例会において議会改革特別委員会に付託され、継続審査となつていた。

いっばんしつもん

秩父鉄道の利用促進について

市民クラブ 江田 治雄

問 少子化や自動車社会の影響をもろに受け、利用客減少に拍車がかかり大変な状況にある。お客が少ないのでダイヤ改正により、運行本数を減らさざるを得ない。まさに悪循環となつている。鉄道を守る意味でも、我々市民は積極的に利用すべきと思う。三峰口と長瀬間で自転車も一緒に乗れる、サイクルトレインも気軽に利用してもらいたい。

市では現在、バスの回数券を購入すると、年間4千円を限度に補助金を出しているが、鉄道運賃に対しても同様な補助が出来ないかうかがう。

答 平成18年度から、65歳以上の市民を対象に実施している。鉄道運賃についても、利用拡大を推進するためにも、前向きに検討する。

●環境立市ちちぶについて

問 地球温暖化の影響か、今年は大変な猛暑であった。全国各地で高齢者を中心に熱中症死亡者も続出する現状であった。二酸化炭素削減等の数値目標がつかみにくい事業である。しかし市民一丸となり、取り組まねばならない時期に

きている。

市として、具体的な対策をどう考えているか。

答 市営林等をはじめ、山林の間伐など積極的に進める。さらに市役所本庁舎や公共施設の温室効果ガスの排出量を公表する。市民参加型のエコ運動の展開を積極的に図る。



市内を走る秩父鉄道

◎ふるさと納税制度について
◎小学生と高校生のふれあい体験事業について